

内閣府「研修（有明・地方）」及び各種取組の体系（案）

1. 「防災スペシャリスト」養成のための研修について

(1) 有明の丘基幹的広域防災拠点における研修（有明）

コース	対 象	期 間	学習重点	身につけるべき事項				備 考	
				活動の 前提	活動遂行能力				
					知識	技能	態度		
1	総合管理	本部運営の中核的な役割を担う職員で、総合調整を実践する人材	2日間	総合調整を行う上で必要な知識・態度の習得	—	◎	◎	◎	
2	個別対策 (選択式)	個別課題の対応に専門的に従事する職員	2日間 × 3テーマ	個別課題への対応に必要な知識・技能・態度の習得 (個別課題を3テーマに分類)	—	◎	◎	○	
3	防災基礎	防災部門への新任職員	2日間	防災業務の遂行に不可欠な基礎知識、態度の習得	◎	△	—	◎	

(◎はコースの重点、○は個別課題に応じた内容を学習、△は総論として学習)

※1 従来の幹部コースが「総合管理」、中堅コースが「総合管理」＋「個別対策」、一般コースが「個別対策」＋「防災基礎」

※2 「個別対策」については、「総合管理」、「防災基礎」の受講者が別途受講できるように実施日を工夫

(2) 出前による研修（地方9ブロック）

コース	対 象	期 間	学習重点	身につけるべき事項				備 考	
				活動の 前提	活動遂行能力				
					知識	技能	態度		
4	地域別総合防災 (地方9ブロック)	本部運営・個別課題への対応に従事する担当職員	2日間	(地域特性を踏まえ) 災害対応に必要な知識・態度の習得	◎	○	○	◎	

(◎はコースの重点、○は地域特性に応じて学習)

2. 「訓練指導者」養成のための研修（有明）

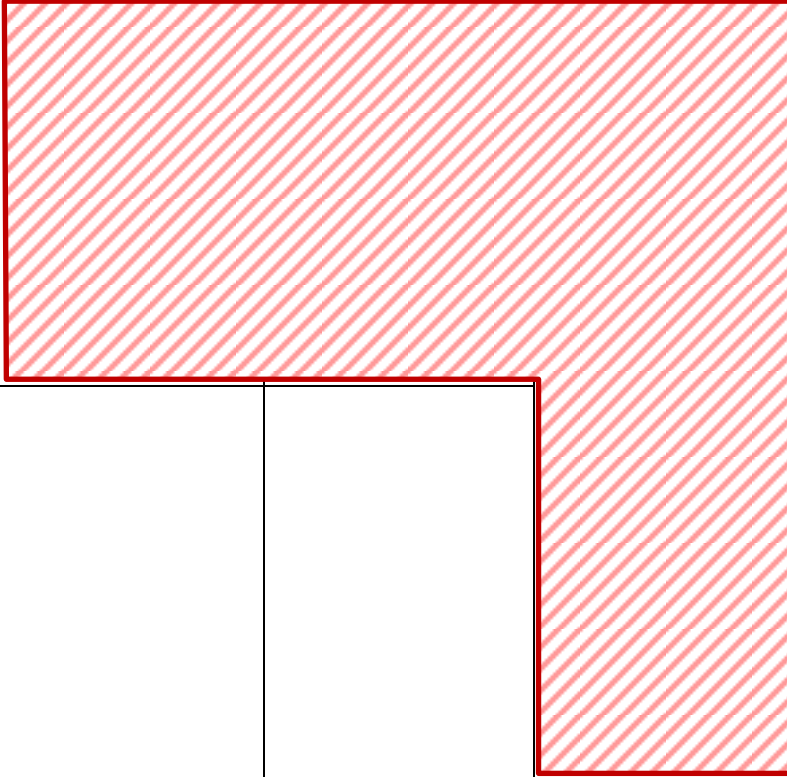
コース	対 象	期 間	学習重点	備 考
訓練指導者養成	防災力向上のための教育・訓練等を担当する職員	2日間	研修・訓練の企画・実施に必要な知識・知恵、ノウハウ、学習体系等の習得	平成27年度以降

3. フォローアップ及び人的ネットワーク強化・充実のための交流事業（有明）

取 組		対 象	期 間	取組の重点	備 考
交流事業	1 成果発表会	有明研修の受講経験を有する職員	1日間	研修経験を活かした防災業務の取り組み成果を発表し情報交換を行う。 ・発表 ・パネルディスカッション 等	平成26年度より
	2 被災地調査		1回1日～2日間 (適宜実施)	内閣府が例年実施しているアフターアクションレポートや災害エスノグラフィーに係る被災地調査に同行し、その実施を支援することを学習の機会とする。	平成26年度より
	2 災害対応カンファレンス		1日間	地震、風水害、雪害、火山などのハザードごとに研修参加者の中からチームを募り、平時はそれぞれの防災対策の調査研究を行う。	平成27年度以降

1. 総合管理コース（2日間）

身につけるべき事項・能力の領域

	活動の前提	活動遂行能力		
		知識	技能	態度
総合調整				
個別課題への対応				

2. 個別対策コース（2日間）

身につけるべき事項・能力の領域

	活動の前提	活動遂行能力		
		知識	技能	態度
総合調整				
個別課題への対応		選 択 式 (3テーマに分類)		

3. 防災基礎コース（2日間）

身につけるべき事項・能力の領域

	活動の前提	活動遂行能力		
		知識	技能	態度
総合調整				
個別課題への対応				

4. 地域別総合防災コース（出前研修：地方9ブロック）（2日間）

身につけるべき事項・能力の領域

	活動の前提	活動遂行能力		
		知識	技能	態度
総合調整	総合調整			態度
個別課題への対応		地域特性に応じて設定		

有明研修における段階的な能力向上 スキルマップ

